



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 岩崎通信機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6704 URL <https://www.iwatsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西戸 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 木村 彰吾

TEL 03-5370-5111

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	16,030	13.3	326		230		135	
2021年3月期第3四半期	14,151	4.1	1,073		990		855	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 23百万円 (%) 2021年3月期第3四半期 809百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	13.68	
2021年3月期第3四半期	86.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	35,026	24,564	70.1
2021年3月期	36,110	24,971	69.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 24,564百万円 2021年3月期 24,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		40.00	40.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,200	11.5	200		300		250	95.2	25.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P.7「会計方針の変更に関する注記」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	10,080,344 株	2021年3月期	10,080,344 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	141,619 株	2021年3月期	157,111 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	9,932,733 株	2021年3月期3Q	9,919,880 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
継続企業の前提に関する注記	7
会計方針の変更に関する注記	7
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
セグメント情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動の制限が継続される中、ワクチン接種の普及や緊急事態宣言の解除等により、徐々に景気回復の兆しが見られました。しかしながら、製造業においては半導体を始めとする製造部品の供給不足による影響で生産活動の停滞や原材料価格の高騰などが顕在化してきています。さらには、昨年末より発生したオミクロン株の急速な感染拡大の懸念もあり、依然として先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループでは引き続き感染防止策を講じながら事業活動を継続すると共に、部品調達活動及び生産活動に注力し、売上高の回復を図ってきました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、16,030百万円で前年同期に比べ13.3%の増収となりました。利益面では営業損失326百万円（前年同期1,073百万円の損失）、経常損失230百万円（前年同期990百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は135百万円（前年同期855百万円の損失）となりました。

セグメントごとの状況を示すと、次のとおりです。

(情報通信事業)

情報通信事業においては、主力製品であるビジネスホンと生産子会社における受託生産の売上高が増加したことにより、事業全体の売上高は12,634百万円で前年同期に比べ15.1%の増収となりました。セグメント損益は売上高の増加に伴い、821百万円の利益（前年同期238百万円の利益）となりました。

(印刷システム事業)

印刷システム事業においては、主に印刷関連機器及びコロナ禍の市場低迷による消耗品の売上高が減少したことにより、事業全体の売上高は1,155百万円で前年同期に比べ6.4%の減収となりました。セグメント損益は原価率の改善により、117百万円の損失（前年同期156百万円の損失）となりました。

(電子計測事業)

電子計測事業においては、主にパワーエレクトロニクス関連の売上高が増加したことにより、事業全体の売上高は1,908百万円で前年同期に比べ16.8%の増収となりました。セグメント損益は売上高が増加したことにより、21百万円の損失（前年同期160百万円の損失）となりました。

(不動産事業)

不動産事業においては、事業全体の売上高は332百万円で前年同期に比べ7.9%の増収となりました。セグメント損益は新たに取得した収益物件の償却費負担により、64百万円の利益（前年同期122百万円の利益）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。特に世界的な半導体不足により、当社主力商品の部品調達に遅延が発生した場合、その影響を受ける可能性があります。現時点においては、2021年5月14日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,536	5,532
受取手形	865	1,113
売掛金	4,815	3,113
商品及び製品	1,464	1,795
仕掛品	774	1,062
原材料及び貯蔵品	2,397	2,751
その他	441	184
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	16,295	15,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,475	5,406
土地	10,007	10,033
その他(純額)	1,318	1,189
有形固定資産合計	16,802	16,629
無形固定資産		
ソフトウェア	1,210	998
その他	45	45
無形固定資産合計	1,256	1,044
投資その他の資産		
投資有価証券	1,288	1,321
その他	502	515
貸倒引当金	△35	△37
投資その他の資産合計	1,756	1,799
固定資産合計	19,815	19,473
資産合計	36,110	35,026

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,911	1,509
短期借入金	80	118
賞与引当金	516	270
製品保証引当金	62	63
その他	1,684	1,734
流動負債合計	4,254	3,695
固定負債		
繰延税金負債	3,240	3,223
株式給付引当金	58	53
退職給付に係る負債	3,035	2,914
その他	550	574
固定負債合計	6,885	6,766
負債合計	11,139	10,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,025	6,025
資本剰余金	6,948	6,948
利益剰余金	11,776	11,245
自己株式	△147	△135
株主資本合計	24,603	24,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268	287
為替換算調整勘定	△130	△82
退職給付に係る調整累計額	229	275
その他の包括利益累計額合計	367	480
純資産合計	24,971	24,564
負債純資産合計	36,110	35,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	14,151	16,030
売上原価	9,441	10,751
売上総利益	4,710	5,278
販売費及び一般管理費	5,783	5,605
営業損失(△)	△1,073	△326
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	39	41
受取地代家賃	28	27
その他	36	42
営業外収益合計	110	115
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	5	—
為替差損	7	5
固定資産除却損	2	7
出資金運用損	8	—
その他	0	5
営業外費用合計	27	19
経常損失(△)	△990	△230
特別利益		
補助金収入	172	86
特別利益合計	172	86
特別損失		
投資有価証券評価損	3	—
災害による損失	16	—
特別損失合計	19	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△838	△143
法人税、住民税及び事業税	28	30
法人税等調整額	△11	△38
法人税等合計	17	△7
四半期純損失(△)	△855	△135
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△855	△135

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△855	△135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	18
為替換算調整勘定	△54	47
退職給付に係る調整額	23	46
その他の包括利益合計	45	112
四半期包括利益	△809	△23
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△809	△23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

会計方針の変更に関する注記

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」といいます。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過措置に從っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の利益剰余金の当期首残高は1百万円増加しています。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過措置に從って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上収益						
外部顧客への売上高	10,974	1,234	1,634	308	—	14,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,974	1,234	1,634	308	—	14,151
セグメント利益又は損 失(△)	238	△156	△160	122	△1,117	△1,073

- (注) 1. セグメント損益の調整額△1,117百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,117百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上収益						
外部顧客への売上高	12,634	1,155	1,908	332	—	16,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,634	1,155	1,908	332	—	16,030
セグメント利益又は損 失(△)	821	△117	△21	64	△1,073	△326

- (注) 1. セグメント損益の調整額△1,073百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,073百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。